

後悔しない歯科矯正のためのクリニック選び 5つの条件

増田 美加氏

なぜ、クリニック選びが重要なのか

私は、医療や健康にかかわる取材&執筆活動を 20 年以上行い、これまで 1,000 名以上の医師を取材しました。仕事の中で常に大切にしてきたことは、医療を受ける私たち患者側の視点でものを見ていくことです。専門家に“なりすぎない”ことを信条としてきました。患者としての視点で歯科矯正を見ると、まず、「歯科矯正の看板をたくさん見るけれど、どのクリニックにかかったらいいのかわからない」という疑問を持ちます。

現在、日本の歯科診療所数は、コンビニエンスストアより多いと言われています。平成 17 年度の厚生労働省の発表によると、歯科診療所数は 6 万 6732 軒、コンビニエンスストアの店舗数は 6 万弱です。特に都会では、街にあふれるほどの矯正歯科の看板を見かけます。選り取り見取りではありますが、患者側に選ぶ視点がもてないのが現状です。

さらに「矯正をしたけれどうまくいかなかった。後悔している」という声も耳にします。

何人もの歯科矯正だけを専門にする歯科医師を取材する中で、わかってきたことがいくつもありました。“後悔しない”歯科矯正を行うには、きちんと見極めて歯科医師やクリニック、治療法を選ぶ必要があるということです。私たち患者が歯科矯正を行うときには、知識なくしては“後悔しない”クリニックを選ぶことができないと感じています。

後悔しないために私たち患者が持つべき視点とは？

では、私たち患者がクリニックを選ぶときに、一体どういった視点をもてばよいのでしょうか。現状では、安全に歯科矯正治療を行うための専門研修を積んでいなくても、歯科医師なら“だれでも”矯正治療を行なうことが可能だということです。これは私たち患者側にはほとんど知られていないことです。さらに、「矯正歯科」という看板（標榜）も、開業している歯科医師個人の判断であげられるのです。

医療に詳しい方なら、日本には、専門医制度があるではないか、歯科矯正の“専門医”や“認定医”をもった歯科医師を探せばいいのではないかと考える方もいるかと思いますが、ところが、この歯科矯正の“専門医”や“認定医”制度は、まだ厚生労働省が認めた日本全体の歯科矯正を包括するものになっていないのです。

これでは、約 7 万件もある歯科診療所の中で、どの歯科医師に歯科矯正を治療してもらったらよいのか、私たち患者がわからないのは当然です。これらの状況が、ますます矯正専門の歯科医師の見極めを難しくしているのです。

納得のいく歯科矯正を受けるための条件とは？

そこで、患者側の視点で、“後悔しない”納得のいく歯科矯正治療を選ぶポイントを提案することができないかと考えました。私が本物の歯科矯正を専門とする歯科医師だと思った方々に取材し、その結果をまとめたものです。詳細は、日本矯正歯科協会（JIO）の皆様にご監修いただいた拙著『後悔しない歯科矯正』（小学館新書）に書きましたが、そこから一部、条件のみを抜粋して紹介いたします。

- 条件 1 原則、歯科矯正以外の治療はしない。矯正時の抜歯も行わない
- 条件 2 専門性を大切に連携した歯科医療を行っている
- 条件 3 治療前に矯正専門の検査を行い、作成した資料を見ながら説明してくれる
- 条件 4 治療前に治療方針と最終目標を丁寧に説明し、方針が途中で変わることはない
- 条件 5 治療期間が延びた場合でも、原則、当初の見積もり以上の費用はとらない

このほか、歯科矯正を行うクリニックを選ぶ上で、注意すべきポイントについて全 8 項目にまとめました。拙著『後悔しない歯科矯正』（小学館新書）をご拝読いただければ幸いです。

増田 美加氏

女性医療ジャーナリスト